

家庭裁判所調査官にインタビューしました！

岡山家庭裁判所



※撮影のため、マスクは外しています。

岡山家庭裁判所
梶上愛弓家庭裁判所調査官



家庭裁判所公式キャラクター

かーくん

よろしくお願いします。

プロフィール

かじうえ あゆみさん

平成26年4月東京家庭裁判所採用。2年間の研修後、平成28年4月から岡山家庭裁判所倉敷支部で3年間家事事件を担当。平成31年4月に岡山家庭裁判所に異動し、産前産後休暇及び育児休業を取得。令和3年4月に復職し、現在は少年事件を担当。

家庭では、2歳のお子さんの子育て真っ最中。各種制度を利用して、育児と仕事との両立に頑張っています。

現在のお仕事の内容を教えてください。

少年事件の調査を担当しています。非行の原因を明らかにするために、少年や保護者に面接したり、必要に応じて家庭や学校を訪問したりして情報を収集、分析し、その結果を裁判官に報告することが主な仕事です。

週に1回は組(※)でミーティングを行って、それぞれの担当事件について情報共有

したり、意見交換したりしています。また、事件の進行や少年の処遇について、裁判官や裁判所書記官等とカンファレンスを行うなど、関係職種と連携を図っています。

※「組」とは3人以上の家庭裁判所調査官等で構成されるチームのこと。

職場の雰囲気はどうか？

現在、主任家庭裁判所調査官、先輩の家庭裁判所調査官及び私の3人の組で仕事をしています。共同で調査を行う場合など一緒に調査を行うこともあります。すぐに相談できますし、経験豊富な主任や先輩から教えてもらうことも多く、仕事をする上でとても心強く感じています。

私としては、家庭裁判所調査官は女性が多い印象ですが、職場全体として子育て等に関する理解があり、ミーティング等で情報共有し、お互いにフォローし合う態勢ができていますので、仕事と家庭生活を両立させることができると感じています。



家庭裁判所調査官を目指したきっかけは？

中学生のときに万引きをした同級生がいて、同じような生活をしているのに、なぜそのような行為をするに至ったのか考えるようになり、漠然と少年非行に関わる仕事をしたいと思うようになりました。

大学卒業後は、児童養護施設で児童指導員として様々な事情を抱えた子供たちの保護者のような立場で接する仕事をしていました。この仕事をしているとき、少年や保護者から事情を聴きながら、少年や保護者と少年の更生や問題解決に向けて一緒に考え、自分が少し介入することで少年に道が開けるきっかけとなることのできる家庭裁判所調査官を目指すようになりました。



仕事をする上で意識していることや、気をつけている点などあれば教えてください。

少年についての情報収集をするとともに、少年がなぜその行動に至ったのか、また周りの環境がどうだったか等の背景事情を少年と一緒に考えるようにしています。

少年自身が非行に至った原因に気付くことができるように導き、再非行しないためにどうすればいいか納得を得られるように意識して対応しています。そうすることで再非行の防止につながると考えています。

保護者に対しては、少年の状況を伝え、環境を整えてもらえるように働き掛けるなどしています。



印象に残っている出来事がありますか？

家事事件を担当している際に、両親が親権を争っている調停事件で幼児の調査をすることがあったのですが、幼いながらに事情を理解し、両親が争っていることを認めたくない気持ちから、私と話をすることを拒絶していました。最終的には泣きながら問いかけに応じてくれたものの、苦しんでいるのが伝わってきたことが、心に残っています。調査官として関わることで、そういった子が将来少しでも笑顔になってくれたらいいなと考えるようになりました。

休日の過ごし方や、趣味・特技を教えてください。

休日は子供中心になりますので、公園や買い物に行って過ごすことが多いです。時々、両親や夫に子供を預けてサウナや岩盤浴に行き、汗を流してリフレッシュしています。



「法の日」週間を迎えるにあたり、記事を見ている方へメッセージをお願いします。

裁判所の仕事は分かりにくいと思われる方もいらっしゃるかもしれません。

裁判官や裁判所書記官等のいろいろな職種がある中、特に家庭裁判所調査官は人数も少なく、あまり知られていない印象がありますので、この機会に裁判所や家庭裁判所調査官の仕事を知ってもらえたら嬉しいです。



かーくん（岡山バージョン）

最後まで御覧いただき、
ありがとうございました。